

## 当社の目指す環境経営とは ～業績向上に貢献する環境経営への進化～

大田 禊之 (おおた かつゆき/株式会社アキテック 代表取締役)

### 1. 冒頭挨拶

2014年度経営者「環境力」大賞という栄誉ある賞を頂き、誠に光栄に存じます。受賞に際し、お力添えを頂いた皆様方に深く感謝申し上げます。

### 2. 企業概要

弊社は産業用電気機械器具製造業として、変圧器（トランス）の製造・販売および日立の協力工場として事業を営んでおり、来年で創業70周年を迎えます。

戦前、日立製作所亀戸工場に勤務していた広島（安芸の国）出身の先代創業者が、終戦後、日立の協力工場として、東京、江戸川の地で発足いたしました。日立の創業製品であるモーター部品のお手伝いをする傍ら、自社製品である変圧器（トランス）の小型化・軽量化・作業の高効率化に努め、現在は両輪として事業活動を行っております。

### 3. 応募のきっかけ

環境経営について本格的に意識して取り組むようになったのは、エコアクション21の最初の登録を行った2006年からであります。主要得意先様からの薦めもあり、取得したことがきっかけです。そして、エコアクションの取組を通じて日頃お世話になっているコンサルタントの薦めもあり、今回経営者環境力大賞へ応募させていただくこととなりました。

### 4. 環境経営への取組

弊社は、「企業は人！人は和にあり お客様



様のニーズに応え いいものを 安く 早く！豊かな会社になろう！」と社是に掲げておりますが、それまではどちらかという環境経営と会社経営は別物であり、むしろトレードオフの関係にあるとさえ考えていたのが正直なところでした。しかしながら、エコアクションの様々な活動を通じて、それは誤りであると気づき、環境経営とは会社経営そのものだと感じるに至りました。

#### ①「人＝人財」にフォーカスした環境経営

弊社では40年以上前から障害者雇用を積極的に行っております。現在も9名の障害者を雇用しており、社員の4人に1人が障害者で、その平均勤続年数は40年を超えております。最初に採用した子が立派な戦力として活躍してくれたこともあり、社会貢献だけでなく、会社経営にとっても大変有意義であると判断し、その後も採用を継続し、今日に至っております。もちろん、障害者の雇用を維持継続していくことは言葉では言い表せない難しさがあったことも事実ですが、体制を築いていく過程で「人を大切に作る」風土が醸成され

ていったのではないかと考えております。環境という自然やモノにどうしても目が行きがちですが、私どもの考える環境経営の第一歩は「人を大切にし、生き活きと仕事に打ち込める環境づくり」にあると考えます。社員の思いやりの精神を育まない限り、全ての活動が形だけのものになってしまうからです。

## ②エコアクション21への取組

私の決断でスタートしたエコアクションの取組ですが、実務担当者にとってみれば仕事が増えるわけで、最初は恐らくやらされ感があったことも否めません。しかしながら、エコに寄与する製品開発や省エネ・省資源の取組など、全員で考え、行動し、定量的な数値として把握し、一喜一憂していくなかで徐々に社内に環境への意識が芽生え、浸透していったと感じています。

## ③経営計画との連動

私どもは株式会社ですから、儲からなければその存在価値はありません。環境という社会貢献ですとか、自然環境破壊の問題ですとか、大上段に身構えてしまう傾向にある経営者の方々もいらっしゃると思いますが、「ムリ・ムダ・ムラ」をなくしていく活動、あるいは5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）、QCD（品質・コスト・納期）の改善活動は当然のことながら環境負荷の低減にも繋がるわけで、そうした意味では「会社経営と環境経営はトレードオフの関係にあり、同時実現を図るにはどうすればよいか」という視点ではなく、「よりイコールに近い関係にある」と捉えた方が適切ではないかと考えております。その視点で物事を考えていくと、会社の経営計画と環境計画は自然と繋がっていくはずで、その方が社長も社員も真剣に取り組みやすくなります。

## 5. 今後の目指す姿

現在、弊社は経営計画とは別に環境方針、環境計画があり、経営計画をある程度ふまえているもののまだまだ不十分であります。今後は、このような考え方をさらに進化させ、ゆくゆくは経営計画と環境方針の一体化を目指していきたいと考えております。一例を申し上げますと、経営計画には当然売上や利益などの目標がありますが、環境方針にはそのような経営的な目標は掲げないのが普通だと思います。環境方針も経営計画も同じ方向を目指していくとするならば、そのような経営目標を環境方針にも織り込んでいった方がいいのではと考え始めているところです。弊社のゴール（最終的な目標）は社是にもありま



すように「豊かな会社をつくる」ことですから、その目標に沿う形で環境経営、環境活動を展開していくことが継続的に実効性ある施策を展開できる道だと思います。「人を大切にする風土」を繋いでいきながら、エコアクションという手段を活用し、経営と連動させ、今後とも環境経営に地道に取り組んでまいりたいと思います。ありがとうございました。